

広報 伊方町

発行所 伊方町 編集室 印刷所 尾上八幡町

澄みきつた青空のもと

楽しもうスポーツの秋

暑かった夏も過ぎ、一年中で最もさわやかな好季節となりました。食欲、読書、スポーツ、みどりの秋など、秋はいろいろな楽しみ方をします。中でも、最も一般的なのがスポーツに親しむ秋。澄みきつた青空のもと、秋の陽差しを全身に受けて力いっぱい走る姿は、実はずがすがしものです。



運動会を間近に控え、練習に励む伊方小学校のよい子たち。

運動会

運動会というと、だれもが思い出すのは、秋の陽をいっぱい浴びて力いっぱい走った風景。春の遠足とともに秋の運動会は、小中学校時代の楽しい思い出です。

歳時記

日本では、明治七年に東京築地の海軍兵隊で行われた「競力の勝負で、日ごろの優生が闘遊戯会」が始まりといわれます。また明治十一年には、札幌農学校で遊戯会が開かれ、二人三脚、綱引きのほかに農学、校らしく競走、芋拾いなどもあったようです。

秋の全国交通安全運動

九月二十一日 子供の事故防止を

九月二十一日から三十日までの十日間、全国いっせいに秋の交通安全運動が実施されます。この三つの重点項目は、歩行者、特に子供と老人の交通事故防止です。この運動を契機として「交通安全はお茶の間」を合言葉に、家族ぐるみで事故防止に努めましょう。

衝突事故多発

半年に三十件もこの種の交通事故は、県下では発生件数、負傷者ともに増加。本町でも最悪の状態に。カーブでの衝突事故が多発しています。

多発区間は、国道バイパスの九

国民年金

六十歳から受け取ると 七十一歳を過ぎると損

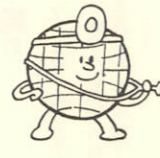
国民年金の年齢で差引かれます。年金がもらえる年齢は、原則として六十五歳からとされています。しかし、六十歳から受け取る場合は、六十歳からもらう金額から繰り上げ支給を請求したときの年齢に応じて、それぞれ減額されます。また、一度少なくなった金額は将来にわたって、六十五歳になって元にはもとに戻り、少ないまま一生続きます。

十月一日は「法の日」

十月一日は「法の日」です。この日は、国をあげて法を尊重し、基本的な権利を擁護し、社会秩序の確立を高めるため、日として制定されました。わたしたちの社会において、個人の自由が保障されること、法の秩序を守ることが、社会を平和に発展させます。

「健康診断」を実施

「健康診断」を実施 コンピューターによる 脳卒中、心臓病などの成人病予防対策の一として、コンピュータによる健康診断を行います。



ことしは河内・久保など1,100人

今年度は、つぎの九地区約一千百人を対象に実施致します。実施時期 昭和五十六年十月一日から十月三十一日までの間。実施方法 調査表を事前に配布しますので、よく読んで項目ごとに該当すれば○印を記入してください。後日調査表を集めて確認予定です。



この結果、たちまち事故が一件もなかつた大きな効果もあつておりました。この区間は、国道でも道幅が狭く、カーブミラーの設置や道路拡

町内一ことしも渡辺さん

ことしもお年寄り番付を作ってみました。これを見ますと、東方の横綱は川口寅吉さん(二見)で94歳。西方の横綱は渡辺コトさん(河内)で96歳です。特に渡辺さんは、二年連続して町内一の長者です。これからも、ますますお元気で長生きをしてください。

東 方 (男)				西 方 (女)			
位置	氏 名	年 齢	住 所	位置	氏 名	年 齢	住 所
横綱	川口 寅吉	94	二見	横綱	渡辺 コト	96	河 内
大関	木戸源太郎	91	河 内	大関	井上 トミ	95	豊之浦
関脇	井田与之平	91	須 賀	関脇	川内ハツノ	94	向
小结	松岡惣之丈	90	湊 浦	小结	佐々木サノ	94	湊 浦
前頭	井田 与市	88	畑	前頭	高橋フジエ	94	田之浦
" 2	上島 竹松	88	加 周	" 2	古田 夕子	94	"
" 3	青木松之助	88	小中浦	" 3	久保 タヨ	93	大 成
" 4	三根生伊勢松	87	須 賀	" 4	古田ミドリ	92	"
" 5	梅岡 繁市	87	豊之浦	" 5	酒井 マキ	92	伊方越
" 6	増原 実	86	中 浦	" 6	市未 ミワ	91	小中浦
" 7	山口弥右エ門	86	二見	" 7	上田 シナ	91	鳥 津
" 8	兵頭寅五郎	86	奥	" 8	神野イセヨ	91	湊 浦
" 9	浜本 清市	86	大 浜	" 9	田中シズカ	91	"
" 10	安部 治	86	河 内	" 10	小泉 ミヤ	91	川永田
" 11	大星 清光	85	川永田	" 11	大星タナヨ	91	"
" 12	由中 芳久	85	"	" 12	岩井チドリ	91	小中浦
" 13	中田 与一	85	湊 浦	" 13	篠川タツ子	90	川永田
" 14	清家 宗市	85	亀 浦	" 14	前田 サオ	90	亀 浦
" 15	鳥津 若松	85	鳥 津	" 15	辻 ナカヨ	90	豊之浦
" 16	松沢渡太郎	85	湊 浦	" 16	山口イノヨ	90	仁田之浜

※紙面の都合で、男女ともベスト20位までを掲載いたしました。(満年齢)

生きがいとは……何か

みんなで考えたい「老後」

九月十五日は「敬老の日」でした。敬老の日は多年にわたって社会に与えて来られたお年寄りの方々を敬愛し、長寿を祝い、また国民すべてが自分の老後に関心を持つ日でもあります。

町内でも、敬老行事がそれぞれの地区単位で開催され、楽しい一日を過ごしていただいたことと思います。

また、この日から一週間は「老人福祉週間」です。こうした月にあたり、町内の長寿者本人の方々、あるいは、老後の楽しみの一として、今なお機嫌よく暮らしているお年寄りに、やがて私達が経験する老後は、老人の生きがいについてみんなで考えてみたいものです。

町内に一千三百六十人 六十五歳以上のお年寄り

全国的な人口の高齢化現象。本 町でも、六十五歳以上のいわゆる高齢者人口は年々増え続け、ことし九月一日現在で一千三百六十二人(男五百五十人、女八百十二人)です。町の人口全体に対する割合は一五・六パーセントで、町民七人に一人は六十五歳以上の方、二十七年生まれにならば「米寿」を迎えられるようになります。これを部別に見てみますと、鳥津の比率が一番高く約三〇パーセントで、鳥津では三人に一人が六十五歳以上のお年寄りというところ。該当者はさきの七人(昨年八十六歳以上の)お年寄りというところ。高松イワノ(大成)は伊方越約一〇パーセント、十人一人という割合です。また、八十歳以上の方は町内に二百十五人おられます。

△の方々は、堀口フジエ(中之浜 足利 キウ(中浦) 兵頭 スエ(伊方越) 篠川フキヨシ(川永田) 藤川 繁市(豊之浦) 三根生伊勢松(須賀 梅岡イワノ(大成) 高松イワノ(大成)

結婚して五十年 おしどり夫婦に金盃

結婚して五十年。ことし金婚式を迎えられた、おしどり夫婦が二組(昨年二九組)ありまおめでとうございます。これらもますますお元気で、仲むつまじくお過ごしください。

つきの方々に、記念品として、高橋寅太郎・福子(大浜) 深川政雄・マサエ() 増原多太郎・マサコ(河内) 荻原順光・ミチエ(中浦) 吉岡才治・サコ(川永田) 井上吉佐木・イワ子(豊之浦) 辻 藤吾・ナカ() 福島健蔵・サコ() 城岡岡市・ヤコ(奥) 下向吉敏・イトミ(向) 山口伊勢男・キヌカ(畑) 上田鶴好・タマヨ(二見)

みなさん元気で！

高齢者訪問

お年寄り番付の中から、上位へ。ストリの方々の自宅を訪問し、長生の秘けつや生活のポイントを伺いました。

みなさん共通した点は、規則正しい生活をされていること。お話ししました。

この人 この趣味



機織りに精出す道元さん

4623

八十二歳で機(ハタ)織り 道元カ子さん(鳥津)

トーンこれは、日本の昔話したくまで織る機(ハタ)を織るとききの音です。

古くは町内至るところで聞かれ、昔前までは時々耳にしていたなつかしい音の一つです。今月は、こうしたなつかしい機織りの音を今でも自分で実践された道元さんです。

道元さんは明治三十一年生まれ、十四人兄弟の八番目、今では考えられないほどの大家族の中で育ち、十八歳で嫁入りされた道元さんです。

当時は現金収入が少なく、機織りは大切な収入源だったようです。道元さんも嫁ぐとすぐお姑さんに教わったそうです。

それから間もなくお子さんが産まれ、家事や繁雑な機織りは中断。隠居後になった二十二年は、お前から、何か自分の身につけるものでもと再び始められました。これからは毎日です。

老齢年金をもらって糸や綿を買い、自分の布巾から家族のものまで織りだしては、お孫さんやお孫さんに使ってあげています。

近ごろでは、化学繊維の発達で昔ながらの手織りで織れる糸が手に入りづらく、もっぱらポリエステルの糸を使っています。

明治生まれのおばあちゃんのこと、地味な無地染はかきかと思っても、三色か四色を使ったり、お花柄や、糸を重ね合わせたりしたデザインも持っています。

今でも二日から三日もあれば一反は大丈夫。一反は、何かしているほうが体よい」と機織りながら笑って話される。

また、八十二歳の現在でも家事の大半はおばあちゃんの仕事。漁業で忙しい家柄に変わって、食事や風呂の準備となかなか忙しい毎日です。

これからはお元気で、好きな機織りを続けてください。

「健康老人」を表彰

ことしも、町の国民健康保険加入者の方々の中から「健康老人」五十人が表彰されました。

健康老人とは、一年間病院等で診療を全く受けなかった七十歳以上のおじいちゃん、おばあちゃん、毎年敬老の日に表彰しているものです。

ことしは、奥の兵頭寅五郎さんがはじめて五十人に表彰状と金一封が贈られました。

表彰を受けた方々は、つぎのとおりです。



西方横綱 渡辺コトさん (河内) 96歳



東方横綱 川口寅吉さん (二見) 94歳

畑仕事の日課

四年連続東方の横綱。立ったり座ったり、歩いたりするときの身のこなしは、とても九十四歳とは思えない。

今でも朝顔を欠かさない。朝の畑仕事も日課。みかん畑の手入れから、食べるだけの野菜は自分で作る。

歩くのが楽しみ

町内の長者。歩くことが大好き。一日に二回も三回も、自宅から湊浦まで(往復約二キロ)歩く。

思いついたときに好きなことをし、お年寄りの集りにも出かけ、話しをしたが、歌ったりする陽気で元気のよいおばあちゃんです。

- 豊之浦 河野太郎一、辻カ子
- 中田百歳
- 伊方越 窪田ナエ
- 奥 兵頭寅五郎
- 藤原キク
- 坂戸朋三郎、谷村八左
- 畑 工門
- 須賀 亀田与平治、亀田ノブ
- 久保 堀池弥寿子、林キヨミ
- 西 二宮初定
- 仁田之浜 中マツエ、宮谷竹
- 河内 安部 治、土井政治
- 藤原フジエ、二宮寿美子、吉原シズエ
- 湊浦 徳田花子、中田キヌ、山口重夫、山口吉晴
- 小中浦 渡辺イトエ
- 川永田 岡野クニ工、梶谷ナカ
- 加周 岡西秀次、重岡義政、古田ミツ
- 古原 辻本照道、渡辺明
- 鳥津 鳥津高吉、道元子
- 大成 大成金石門

